

# 「十三」

失敗を恐れるな

教頭 田中 久年

日本には四季という季節の移り変わりがあります。旧暦では1月から3月を春としていますが、気象学では3月から5月の期間になります。その旧暦で3月のことを弥生といい、「草木がいよいよ生い茂る月」という意味があります。この時期になると各地で雪や氷が解け、植物が芽を出し花のつぼみがふくらみ始めます。みなさんは、春から何を連想しますか。

私は、卒業式が最初に思いつきます。1月から3月にかけて「3年生は様々な関わりに感謝する姿」、「2年生は最高学年となる不安な姿」、「1年生は一心に先輩を追いかける姿」が見られるようになります。私からみなさんへ、国会議員もしていたプロレスラーのアントニオ猪木さんがよく使っていた言葉を贈ります。

この道を行けば どうなるのかと 危ぶむなかれ  
 危ぶめば 道はなし  
 ふみ出せば その一足が 道となる その一足が 道である  
 わからなくても 歩いて行け 行けば わかるよ



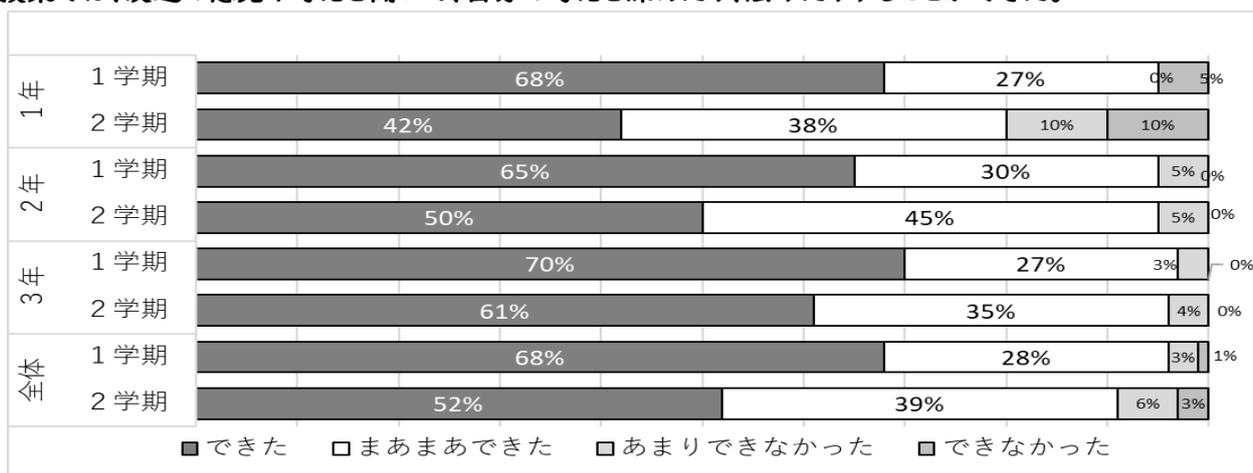
これは昔のお寺さんで使われた言葉のようです。詳しくはみなさんで調べてください。「不安に思うけれど新しい一歩を踏み出せよ。その一歩が道となる」と私がいつも励ましてもらっている言葉です。

## ◆◆◆ 学校評価の結果について ◆◆◆

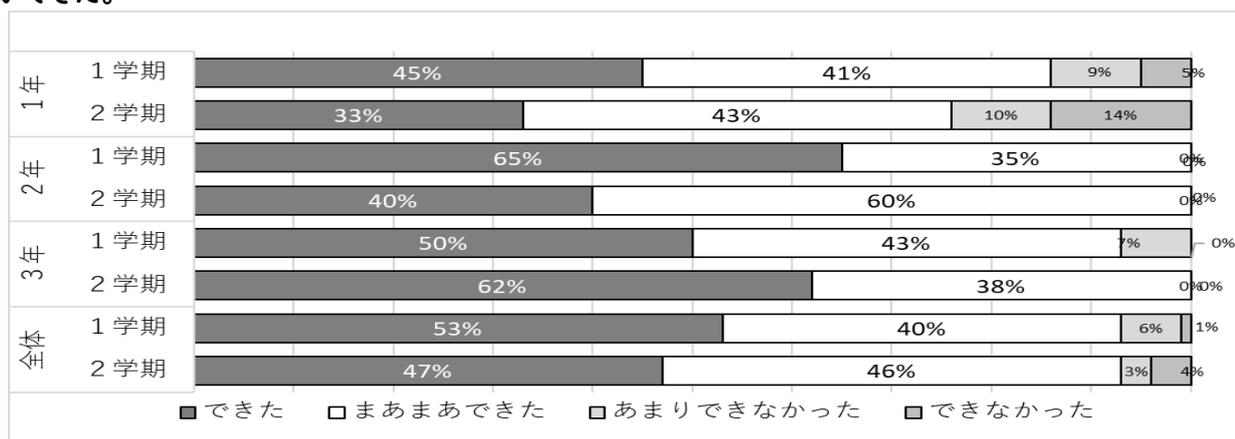
### アクションプラン1 主体的に学ぶ生徒の育成

【学校評価アンケート（生徒）の結果】

1. 授業では、友達の意見や考えを聞いて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。



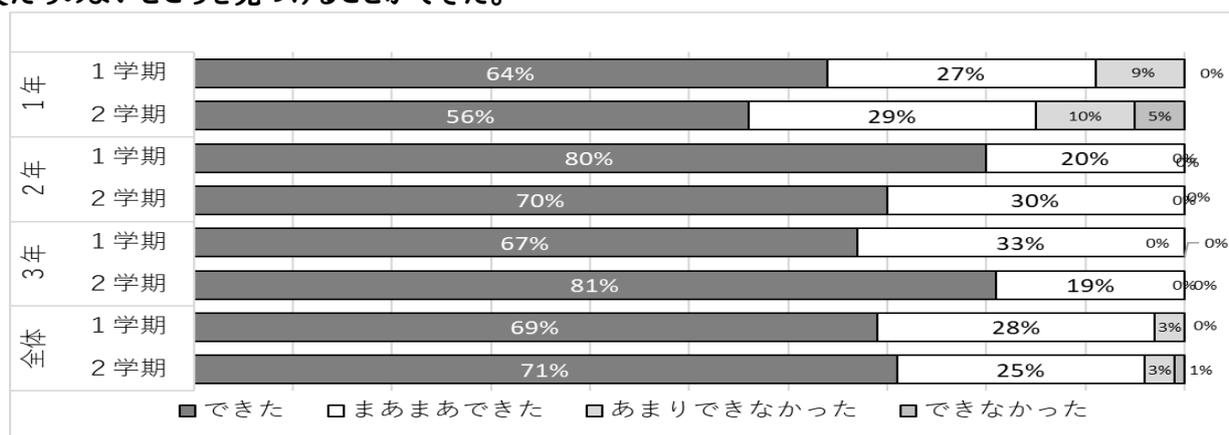
2. 授業では、ICT (タブレット・電子黒板) を活用して、調べたり、考えを表現したりするなど、自分の学びを広めることができた。



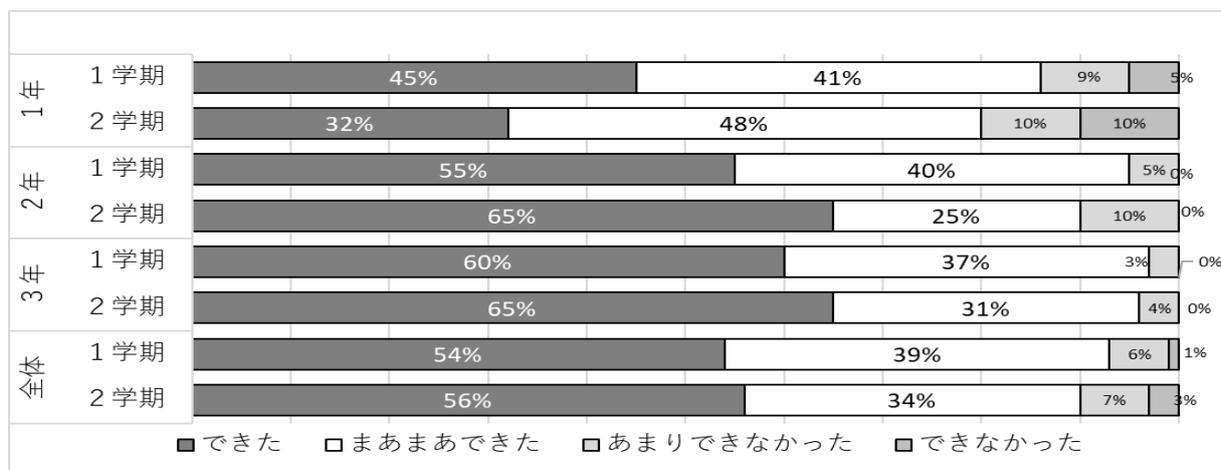
今年度は、主体的に学ぶ生徒の育成をめざし、ICT の活用をしたり、生徒自身が自己選択、自己調整する場を確保したりしながら、授業改善を図ってきました。今後も、確かな学力の定着をめざし、家庭学習の習慣化をめざしていきます。

アクションプラン2 認め合い、高め合う生徒の育成

3. 友だちのよいところを見つけることができた。



4. 学校における諸活動 (学校行事、生徒会、学級活動、部活動) において、人の役に立つことができた。



今年度は、生徒会活動や学級での活動を通して、自分たちの問題を自分たちで解決する機会を設定してきました。また、学校生活全般の中で、互いのよさを認め合い、高め合いながら諸活動に取り組んできました。来年度も友だちや集団のために、できることを考え、進んで実践できる生徒が増えるよう努めていきます。